



公益社団法人

日本山岳・スポーツクライミング協会

## ロシア政府軍のウクライナ侵攻に関する声明

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（JMSCA）は、UIAA、IFSC、ISMFの国内競技連盟として、ロシア政府によるウクライナへの軍事侵攻を強く非難し、即時対話による停戦、平和解決を求めます。

私共は、Dmitry Bychkov 会長が率いる Climbing Federation of Russia とは友人関係にあり、同会と JMSCA はスポーツクライミング競技を愛し、共に競技普及、選手育成・強化に努めてまいりました。同会に限らず、ロシア国内の多くのスポーツクライミングファンとも、深く・長い友好関係があります。この唯一無二の関係は、いかなる戦争行為にも侵されるものではありません。

ウクライナ国内においても、多くのスポーツクライミングファンが存在し、過去の国際大会においても活躍してきました。

彼らは今、日々のトレーニングはもとより、家族・友人との別れを余儀なくされ、毎晩眠れぬ夜を過ごしています。

我々は、ベラルーシを含めた三国民に対する差別、誹謗中傷、迫害的行動の強制が行われないことを要望します。

ロシア、ベラルーシの登山愛好者・アスリートと、両国政府による戦争行為を同一視し、マイノリティー、弱者に対する差別、行動の強制は決して許されるものではなく、我々は決して第三者的立場で傍観し、沈黙を続けることは許されません。登山、スポーツクライミング、山岳スキーを愛する私共自身だからこそ、一つでも多くの客観的情報を求め、多くの当事者からの生の声に耳を傾けるべきでしょう。

この戦争は、いつかは終わります。その終結後も、両国の間には深い溝と傷が残ることを我々は知っています。失われた人命とその遺族の悲しみは永遠に世界の歴史に刻まれます。

ウクライナ国民の生活、インフラ復旧には多大な時間を要し、ロシアの国際的孤立は深まることでしょう。そうした戦後時代を共に生きるために、我々、登山を含む山岳スポーツとスポーツクライミングを愛する者は、今何を為すべきか、真剣に考えていくべきなのです。

JMSCA



公益社団法人

# 日本山岳・スポーツクライミング協会

2022年

3月15日

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

会長 丸 誠一郎

丸 誠一郎

# JMSCA